

平成26年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	田幸、北堀、栗田
		全体計画						経費区分		-		内線	3252
事務事業名	4135 環境対策事業												
所 属	140100 環境部・生活環境課												
施 策	03011100 環境を守る活動の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	040106 衛生費・保健衛生費・公害対策費											
	事業	010000 環境対策事業											
事業目的							事業概要・効果						
市民の生活環境保全のため、河川水質調査や環境保全パトロール等を実施し、また、各種苦情の早期解決に努める。騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法などに基づく規制基準の遵守のため指導及び改善勧告等、必要な措置を行い公害の防止に努める。							河川の水質調査や地域環境保全巡回パトロールを行い、現状の把握や水質汚濁防止等に努める。また、騒音防止法、振動防止法、悪臭防止法に基づく指導等により、公害防止に努める。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
河川の水質調査、公害苦情等の処理、千曲川河川一斉パトロールの実施、地域環境保全巡回パトロール	河川の水質調査、公害苦情等の処理、千曲川河川一斉パトロールの実施、第二次須坂市環境行動計画の策定、アレチウリ撲滅作戦、空間放射線量の定点測定
平成24年度 実績	平成25年度 実績
河川の水質調査、公害苦情等の処理、千曲川河川一斉パトロールの実施、悪臭防止法に基づく規制地域追加指定、アレチウリ撲滅作戦、空間放射線量の定点測定、自動車騒音常時監視及び面的評価業務	河川の水質調査、公害苦情等の処理、千曲川河川一斉パトロールの実施、悪臭防止法に基づく規制地域追加指定、アレチウリ撲滅作戦、空間放射線量の定点測定、自動車騒音常時監視及び面的評価業務
平成26年度 予定	平成27年度 予定
河川の水質調査、公害苦情等の処理、千曲川河川一斉パトロールの実施、悪臭防止法に基づく規制地域追加指定、アレチウリ撲滅作戦、空間放射線量の定点測定、自動車騒音常時監視及び面的評価業務	

指標名	主要河川BOD値の改善				
算式	市内主要7河川の観測地点のうち、目標基準（1.0mg/ℓ）以下を満たしている割合				単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標	56%	67%	78%	89%
	実績	68%	73%	68%	100%
指標選定の理由	第5次須崎市総合計画に基づき設定				
最終年度目標の根拠	市内主要7河川の観測地点のうち、目標基準である100%を満たすため。				
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		6,998	7,406
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		6,998	7,406
人員数 (人)	正規職員	0.9	1.1
	嘱託職員	0.5	0.4
	臨時職員	0.0	0.1
人員 コスト	正規職員	6,172.2	7,543.8
	嘱託職員	1,362.5	1,090.0
	臨時職員	0.0	117.7
	計	7,534.7	8,751.5
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		14,532.7	16,157.5

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	54	報償金54
11節 需用費	465	消耗品245、燃料費120、印刷製本29、修繕料71
13節 委託費	4,816	保守点検委託料95、その他の委託料4,721
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	33	負担金33
その他	1,630	賃金1,281、共済費195、旅費43、役務費111

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	16	報償金16
11節 需用費	523	消耗品費261、燃料費150、印刷製本費30、修繕料82
13節 委託費	5,012	保守点検委託料117、その他の委託料4,895
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	35	負担金35
その他	1,820	賃金1,308、共済費195、旅費44、役務費243、公課費30

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	自然環境を保全し、豊かな自然を次世代に引き継ぐため、定期的な河川の観測・調査を行なうことは必要不可欠な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	目標値の達成率は前年度と比較し若干下がっているが、自然環境の保全のため、定期的な観測・調査を行い、検証することは有効な手段であると考えます。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	年度毎の競争入札により委託費用が下がってきているため効率は向上していると考えます。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

自然環境を次世代に引き継ぐため、定期的な河川BOD値の観測・調査を継続していくことが必要と考える。前年度と比較し、若干目標値の達成率が低下したことから、河川の水質向上に努めるため不法投棄等の監視の強化や広報等が必要と思われる。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
<p>各種公害苦情に対応するため、法に基づき的確な指導等を継続する。また、市に指導権限がない苦情については、県等関係機関と携を密にし早期解決を図ることが重要である。</p>	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
<p>安心安全な市民生活の保全に直結する重要事業。長年の懸案である悪臭問題の早期解決のため、法に基づく規制の見直しなど、着実な条件整備が進められている。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	